

【社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 主催】

虐待を受けた子どもの心理療法に関する ワークショップ 2018

里親や施設で暮らす子どもたちを対象に心理療法を行っているが、何年も面接をしているのに子どもの状態が変わらない、問題行動が顕著になってきたが心理的ケアにのらない等、難しいケースが多いなど感じていませんか？

社会福祉法人子どもの虐待防止センター（CCAP）では、児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもの心理治療として、新たな養育者とのアタッチメント（愛着）形成に資するよう「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」を実施しています。このプログラムは「トラウマ」と「アタッチメント」の両方の理論に立脚している点が大きな特徴であり、参加した多くの子どもたちにプログラムの効果が確認されています。そこで、年1回、児童養護施設において子どもの心理療法を担当している心理職の方を対象に、本プログラムの基礎的ワークショップを開催しております。社会的養護の子ども達に頻繁にみられる様々な問題を理解するための、トラウマやアタッチメントによる理論的背景、具体的な技法、実際の事例展開といった講義だけでなく、実践的訓練も組み入れています。またどのように施設の中にアタッチメントの概念を浸透させ、ケアワーカーを巻き込んで本プログラムを導入していくのか、そしてケアワーカー及び児童相談所とどのように連携していくか等、児童養護施設に共通する具体的な課題も取り入れながら、施設内で実際に取り組んでいる事例についてもご紹介します。

※本研修は、日本臨床心理士資格認定協会の継続研修実績対象事業に、臨床心理士有資格者の資格更新のための研修ポイントを取得するための申請を予定しています

1. 日 程

2018年11月2日（金）14：00～19：00

2018年11月3日（土・祝）10：00～17：45

2018年11月4日（日）10：00～15：30

※宿泊、食事は各自ご手配ください

※2日目終了後に懇親会を予定しています

2. 対 象 と 定 員

児童養護施設に現在勤務する心理職 30名

3. 応募条件

- ① 3日間のプログラム全講座を受講出来る方
- ② 現在、児童養護施設において子どものセラピーを実施している方

4. 会 場

飯田橋レインボービル（住所：東京都新宿区市谷船河原町11番地）

○ アクセス：JR総武線「飯田橋」駅 西口 徒歩5分ほか

○ 地図：飯田橋レインボービル <http://www.ienohikariss.co.jp/bld/map.html>

5. 研修内容（詳細裏面）

虐待の心理的影響、トラウマの心理療法、アタッチメント障害の心理療法など

6. 講 師

- 西澤 哲／山梨県立大学、CCAP理事（CCAPで実施のプログラム責任者）
- CCAP主催アタッチメント形成のための心理療法プログラム スタッフ

7. 参加費

30,000円（賛助会員の方は28,000円）

8. 申込み

申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてCCAP事務局までお申し込み下さい。
受付結果は、後日受付番号や振込手続きなどを明記した受付票をFAXにてご返信致します。

虐待を受けた子どもの心理療法に関するワークショップ2018申込書

開催日：2018年11月2日(金) 11月3日(土) 11月4日(日)

WEB

記入日：2018年 月 日

ふりがな				● CCAP 賛助会員(いずれかに○) 1. 会員である 2. 会員ではない 3. 入会を申込み
氏名				
所属施設名				
住所 ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先	〒			
TEL ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先	(日中連絡可能な番号をお書き下さい)	FAX ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先		
振込者名				
懇親会	2日目終了後の懇親会に参加を申込みますか? (懇親会の参加費は飲み物代を含む4,000円程度)		申し込む・申し込まない	
応募条件 など	(1) 今回の3日間の講座に全て出席が可能ですか?		はい・いいえ	
	(2) 現在、子どものセラピーを実施していますか?		はい・いいえ	
	(3) 心理職としての経験年数は何年ですか?		年	
	(4) 臨床心理士の資格をお持ちですか?		はい・いいえ	
質問等 ※聞きたいこと など具体的に				

●CCAP 賛助会員とは当法人活動に賛同し、年会費をもって活動を経済的に支援して頂く方です。年会費は一口5,000円(4月～翌3月迄の年度制)で、会員の方には当法人主催のセミナーに会員割引でご参加いただけるほか、セミナーのお知らせや虐待に関する取り組みをレポートする機関紙「CAP ニュース」(季刊)をお送りしています。入会ご希望の方は、事務局までご連絡下さい

■ スケジュール 2018 (予定)

		内 容		
1 1月2日 (金)	(1) 講義 1 14:00~15:30	虐待の心理・精神的影響と Attachment プログラム : ト라우マと アタッチメントを中心に	<ul style="list-style-type: none"> 虐待の影響 日常の治療的養育の視点の重要性 Attachment プログラムの説明 	
	(2) 講義 2 15:45~17:15	虐待を受けた子どもの 心理療法 その1: トラウマからの回復を 促進するには	【トラウマ理論】 <ul style="list-style-type: none"> トラウマ治療の基本 治療のあり方、その技法 自我の耐えられる範囲でのトラウマ曝露を行うためのプレイの技法について 	
	(3) 演習 1 17:30~19:00	プログラム構成の説明 その1	プログラムの実際の映像を交えて	
1 1月3日 (土・祝)	(4) 講義 3 10:00~11:00	虐待を受けた子どもの 心理療法 その2: アタッチメントの 再形成促進を目指して	【アタッチメント理論】 <ul style="list-style-type: none"> 新たな養育者とのアタッチメント関係を促進するための心理療法のあり方 アタッチメント及びアタッチメントの障害を理解する 	
	(5) 講義 4 ① 11:00~12:15	施設実践 (1) : 治療プログラムの実践 ポイント	①明確な治療動機づけの重要性、心理教育、 ライフヒストリーの整理 ほか	
	昼休憩 12:15~13:15			
	(6) 講義 4 ② 13:15~14:30	施設実践 (2) : 治療プログラムの実践 ポイント	②日常のケアワークへの コンサルテーションとケースワーク	
	(7) 演習 2 14:30~16:00	プログラム構成の説明 その2	プログラムの実際の映像を交えて	
	(8) 演習 1 16:15~17:45	心理療法の実践的検討: ロールプレイによる検討	実際のセラピー場面を通じて、 虐待を受けた子どもの心理治療のあり方 に関する実践的な理解をした上で参加者 とロールプレイを 行う。	
※ 終了後、懇親会 18:30~				
1 1月4日 (日)	(7) ミニシンポジウム 10:00~12:40	【ミニシンポジウム：児童養護施設における心理療法のあり方】 <ul style="list-style-type: none"> ①プログラムを応用した、施設内における実践の報告 ②対象年齢の低い子どもへの施設実践 ③対象年齢の高い子どもへの施設実践 ④プログラムの導入と生活場面面接での応用 ※施設心理職に共通するテーマを取り上げる		
	昼休憩 12:40~13:40			
	(8) 総括 13:40~15:30	まとめと討論	参加者によるディスカッションと全体のまとめを通して理解を深める。	